

No.	分類	品目名		単位	数量			適用品目 数量割合 (4)=(1)/③	平成27年度 目標値⑤	目標達成率 (4)/⑤	備考	
		(品目分類)	(品目名)		適用品目①	類似品目②	合計③ (=①+②)					
1	資材	盛土材等	建設汚泥から再生した処理土	m ³	145,263	6	152,390	100.0%	100.0%	100.0%	※1	
2			土工用水砕スラグ	m ³	7,121							
3			鋼スラグを用いたケーソン中詰め材	m ³	43,756	0	66,117	100.0%	100.0%	100.0%	※1	
4		地盤改良材	フェロニッケルスラグを用いたケーソン中詰め材	m ³	22,362							
5			地盤改良用製鋼スラグ	m ³	43,865	0	43,865	100.0%	100.0%	100.0%		
6			高炉スラグ骨材	m ³	7,243							
7		コンクリート用ス ラグ骨材	フェロニッケルスラグ骨材	m ³	2,586	0	15,169	100.0%	100.0%	100.0%	※1	
8			鋼スラグ骨材	m ³	5,340							
9			電気炉酸化スラグ骨材	m ³	0							
10		アスファルト混合 物	再生加熱アスファルト混合物	t	1,643,931							
11			鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物	t	9,090	10,044	1,695,705	99.4%	100.0%	99.4%	※1	
12			中温化アスファルト混合物	t	32,641							
13		路盤材	鉄鋼スラグ混入路盤材	m ³	35,741	2,216	1,948,172	99.9%	100.0%	99.9%	※1	
14			再生骨材等	m ³	1,910,214							
15		小径丸太材	間伐材	m ³	4,340		4,340				※2	
16	高炉セメント		t	444,504	7,012	502,028	98.6%	100.0%	98.6%	※1		
17	混合セメント	フライッシュセメント	t	50,511								
18		生コンクリート(高炉)	m ³	2,972,489	25,994	3,025,410	99.1%	100.0%	99.1%	※1		
19		生コンクリート(フライッシュ)	m ³	26,927								
20	セメント	個	6,232		6,232					※2		
21	コンクリート及びコンクリート 製品	透水性コンクリート	m ³	815		815				※2 ※3		
22		透水性コンクリート2次製品	個	11,160		11,160				※2 ※3		
23	鉄鋼スラグ水和固化体	kg	339,581	0	339,581	100.0%	100.0%	100.0%				
24	吹付けコンクリート	フライッシュを用いた吹付けコンクリート	m ³	91,992	391	92,383	99.6%	100.0%	99.6%			
25	塗料	下塗り塗料(重防食)	kg	339,340	277	339,617	99.9%	100.0%	99.9%			
26		低揮発性有機溶剤型の路面表示用水性塗料	m ²	1,632,001	4,404	1,636,405	99.7%	100.0%	99.7%			
27		高日射反射率塗料	m ²	257	0	257	100.0%	100.0%	100.0%			
28	防水	高日射反射率防水	m ²	3,519	1	3,520	100.0%	100.0%	100.0%			
29		再生材料を用いた舗装用ブロック(焼成)	m ²	8,402	0	8,402	100.0%	100.0%	100.0%			
30	舗装材	再生材料を用いた舗装用ブロック(プレキャスト無筋コンクリート製 品)	m ²	4,138	0	4,138	100.0%	100.0%	100.0%			
31		園芸資材	パークたい肥	kg	3,198,664	44	3,271,888	100.0%	100.0%	100.0%	※1	
32		下水汚泥を用いた汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト)	kg	73,179								
33	道路照明	環境配慮型道路照明	個	8,912	249	9,161	97.3%	100.0%	97.3%			
34	中央分離帯ブロック	再生プラスチック製中央分離帯ブロック	個	11,961	113	12,074	99.1%	100.0%	99.1%			
35	タイル	陶磁器質タイル	m ²	17,081	2	17,083	100.0%	100.0%	100.0%			
36	建具	断熱サッシ・ドア	工事数	8		8				※2		
37	製材等	製材	m ³	877		877				※2		
38		集成材	m ³	161		161				※2		
39		合板	m ²	160,799		160,799				※2		
40		合板	m ³	63		63				※2		
41		単板積層材	m ³	14		14				※2		
42	フローリング	フローリング	m ²	6,348	0	6,348	100.0%	100.0%	100.0%			
43	再生木質ボード	パーティクルボード	m ²	2,336	0	2,336	100.0%	100.0%	100.0%			
44		繊維板	m ²	17,902	36	17,938	99.8%	100.0%	99.8%			
45		木質系セメント板	m ²	5,986	0	5,986	100.0%	100.0%	100.0%			
46	ビニル系床材	ビニル系床材	m ²	61,877	60	61,937	99.9%	100.0%	99.9%			
47	断熱材	断熱材	工事数	242		242				※2		
48	照明機器	照明制御システム	工事数	90	0	90	100.0%	100.0%	100.0%			
49	変圧器	変圧器	台	159	0	159	100.0%	100.0%	100.0%			
50	空調用機器	吸収冷温水機	台	16	0	16	100.0%	100.0%	100.0%			
51		水蓄熱式空調機器	台	1	0	1	100.0%	100.0%	100.0%			
52		ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	台	16	0	16	100.0%	100.0%	100.0%			
53		送風機	台	674	0	674	100.0%	100.0%	100.0%			
54		ポンプ	台	384	0	384	100.0%	100.0%	100.0%			
55	配管材	排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニ ル管	m	23,967	63	24,029	99.7%	100.0%	99.7%	※5		
56		工事数	42	0	42	100.0%	100.0%	100.0%	※5			
57	衛生器具	自動水栓	工事数	85	0	85	100.0%	100.0%	100.0%			
58		自動洗浄装置及びその組み込み小便器	工事数	59	0	59	100.0%	100.0%	100.0%			
59		洋風便器	工事数	158	0	158	100.0%	100.0%	100.0%			
60	コンクリート用型枠	再生材料を使用した型枠	工事数	36		36				※2		
61		合板型枠	工事数	1,024		1,024				※2		
62	建設 機械	排出ガス対策型建設機械	機種	41,671	431	42,102	99.0%	100.0%	99.0%			
63			工事数	6,646	177	6,823	97.4%	100.0%	97.4%	※4		
64		低騒音型建設機械	機種	19,657	188	19,845	99.1%	100.0%	99.1%			
65			工事数	4,035	86	4,121	97.9%	100.0%	97.9%	※4		
66	建設発生土有効利用工法	低品質土有効利用工法	工事数	96	3	99	97.0%					
67	建設汚泥再生処理工法	建設汚泥再生処理工法	工事数	23	0	23	100.0%					
68	コンクリート塊再生処理工法	コンクリート塊再生処理工法	工事数	41	1	42	97.6%					
69	舗装(表層)	路上表層再生工法	工事数	25		25				※2		
70			m ²	18,103		18,103				※2		
71	舗装(路盤)	路上再生路盤工法	工事数	26		26				※2		
72			m ²	40,503		40,503				※2		
73	法面緑化工法	伐採材又は建設発生土を活用した法面緑化工法	工事数	38		38				※2		
74			m ²	225,299		225,299				※2		
75	山留め工法	泥土低減型ソイルセメント柱列壁工法	工事数	1		1				※2		
76	目的物	舗装	排水性舗装	工事数	273		273				※2	
77			m ²	1,381,492		1,381,492				※2		
78		透水性舗装	工事数	193		193				※2		
79		m ²	189,800		189,800				※2			
80		屋上緑化	屋上緑化	工事数	7		7				※2	
81			m ²	2,059		2,059				※2		

注) 公共工事で使用する資材や建設機械については、
 ○事業毎の特性、必要とされる強度や特性、機能の確保、コスト等に留意する必要があること。
 ○事業の目的、工作物の用途、施工上の難易により資材等の使用形態に差異があること。
 ○調達可能な地域や数量が限られている資材等があること。
 等の事情があるため、使用可能な範囲において調達が行われている。

※1 類似品目が共通しているものは、該当する適用品目全体の数量割合を算出している。

※2 間伐材、エコセメント、透水性コンクリート、透水性コンクリート2次製品、断熱サッシ・ドア、製材、集成材、合板、単板積層材、断熱材、再生材料を使用した型枠、合板型枠、路上表層再生工法、路上再生路盤工法、伐採材又は建設発生土を活用した法面緑化工法、泥土低減型ソイルセメント柱列壁工法、排水性舗装、透水性舗装、屋上緑化の適用品目数量割合は、類似品目の特定が困難なため、今回は算出しない。

※3 基本方針に定める品目「透水性コンクリート」は、透水性コンクリートと透水性コンクリート2次製品に分けて計上している。

※4 建設機械については、適用品目数量を工事数及び機種数で計上している。

※5 排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニル管については、数量をm数又は工事数で計上している。